

# Fun・Fanプロジェクト

若者会議と社会福祉協議会との連携・協働による事業

# Fun・Fanプロジェクトとは？

- ▶ 第4次の伊賀市地域福祉計画「ひとりひとりが支え合いつながり合いながら、いきいきと暮らせるまちづくり」の理念



伊賀市流の地域共生社会の実現



3つの戦略

- ① 地域と専門機関をつなぐ
- ② 専門機関の力を高める
- ③ 地域の力を高める

核を担う事業が重層的支援体制整備事業

# Fun・Fanプロジェクトとは？

## 重層的支援体制整備事業 ▶ 地域づくり事業

ワクワクできること、楽しめること  
(FUN)

好きになってくれる人、一緒にやる人  
(FAN)

Fun・Fanプロジェクト

持続可能なまちづくりの実現

# Fun・Fanプロジェクトとは？

- ▶ **【若者会議との連携の目的】** 若い世代、シニア世代を含む全世代が活躍できる場づくり、居場所づくりを目指すための事業づくりを行う。
- ▶ **【令和5年度の内容】** 地域課題に対する共通認識を持って、社会課題解決を目指す。福祉のイメージや枠組みにとらわれない事業の企画や担い手育成を若者会議のメンバーと一緒に考えていく。

# Fun・Fanプロジェクトとは？

やりたいことがあってもどうしていいかわからない

**不安（ふあん）**を抱えている人たちがたくさんいる。

一緒に楽しめること、わくわくすることを企画（Fun）

その次のステージとしては取り組みに共感してもらえる人、一緒にする仲間づくりをすすめる（Fan）

# 令和5年度のスケジュール

## 若者会議への参画

- 6月 Fun・Fanプロジェクトメンバー顔合わせとプロジェクトについて
- 7月 社会課題の共有（居場所、人材育成）
- 9月 社会課題の共有（支え合いの基盤）
- 11月 課題の共有と取り組み（こどもの貧困）

一緒に楽しむこと、わくわくすることを企画・提案  
(Fun)

## 令和6年度～

その次のステージとしては取り組みに共感してもらえる人、一緒にする仲間づくりをすすめる (Fan)

# 若者会議の様子（ZOOM）



### ① 支え合いの基盤となる新たなツールの創出

社会課題：「社会的孤立（孤独）」

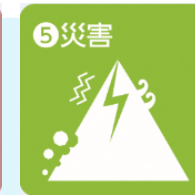
アプリやSNS等をコラボし、新規のデジタルツールを活用する  
…たとえば社会資源ツールを使ったマッチングアプリ



### ② 既存ではいなかった人材の育成及び活躍

社会課題：「災害」「マイノリティ」

外国籍住民が多いという伊賀市の特性を生かし  
昨年度養成された「外国人防災リーダー」とのコラボ  
イベントを通じた交流や地域活動支援



### ③ 住民が集う居場所となるプラットフォームづくり

社会課題：「社会的孤立（孤独）」「生活困窮」「子どもの貧困」

地域食堂（子ども食堂）への支援  
十代カフェの居場所支援  
リアルから始めて、バーチャルな居場所も・・・

